

(1) 事業実績報告

団体名： 矢代古民家活用の会

事業名： 矢代古民家活用事業（古民家を活用した地域活性化事業）

項 目	内 容
事業の目的	<p>(1) 古民家を活用して地域の憩いの場を作る。</p> <p>矢代地区有志で改修した古民家は、矢代地区のほぼ中心にあり、矢代コミュニティセンや集落センターよりも段差が少なく高齢者でも利用し易い建物である。</p> <p>この古民家を地域の憩いの場にする事により、これまで参加できなかった住民も交流に参加できるようになり、さらに世代を超えた交流をする事で地域の絆を深める。</p> <p>(2) 古民家を活用して、カフェやレストランを営業する。</p> <p>矢代の食材を利用する場として、古民家でカフェやレストランを営業し、矢代の歴史を感じてもらいながら地域の食材を有効に使った料理を提供する事で、地産地消を進める。</p> <p>(3) 古民家を活用して、田舎生活や文化を体験してもらう。</p> <p>都市圏からの教育体験旅行やインバウンド受入時に、田舎生活や文化を体験して貰う事により、市内外からの関係人口を増やし移住・定住に結び付ける。</p>
事業内容 (できるだけ 詳細に記入 してください)	<p>(1年目からの継続事業)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 矢代じょんのびサロン開設（金曜日：15回で60名利用）</li><li>2. 週末矢代ふれあいカフェ・レストラン営業 金・土・日：150日で約1,800名利用</li><li>3. 矢代地区の各種サークル作品展示 5月人形展、雛人形展・3/6 茶席開催、手芸品展示（通年）</li><li>4. 矢代ふれあいコンサート開催 7月：七夕コンサート、10月：お月見コンサート、11月：1周年コンサート</li></ol> <p>(2年目新規事業)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>5. 上教大附属小5年2組提案メニュー開発・提供（おにぎりセット、豆腐団子）</li><li>6. 矢代の米、野菜を使った新メニュー開発・提供（いもぼた焼き）</li><li>7. 矢代米の米粉を使ったスイーツ開発・提供 (米粉シフォンケーキ、米粉チーズケーキ)</li><li>8. 8月に体験農家民宿資格取得</li><li>9. 矢代やわやわ体操教室開催（10回開催で80名参加）</li></ol>

<p>実施した成果</p>	<p>「古民家カフェ矢代」はコロナ禍に負けず元気に営業しています。コロナの影響は少なからずあり、昨年8月の第5波、12月の第6波の時は集客が著しく落ちました。それでもカフェ・レストランは年間150日の営業でリピーターも含めて約1,800名の利用がありました。</p> <p>また昨年8月に農家民宿営業を始めた所、65年前に古民家建築に携わった地元の元大工さんが大変喜んでくれて、宿泊で兄妹会をやってくれたり、地元企業の経営者が、会社への出張者の宿泊に利用してくれたりしました。</p> <p>特に令和3年度は、上教大付属小5年2組34名が春から矢代地区で米作りをしたり、古民家カフェのメニュー作りをしてくれたり1年間交流がありました。そして3月の学習成果発表会には、矢代古民家活用の会役員とカフェのスタッフが招かれ、矢代地域での活動で体験した感動的な発表を聞いた後、「古民家入口のカフェ看板を古民家に相応しいものに作り変えて欲しい」とお米の売上金まで頂いてきました。</p> <p>このように次々と出会いと感動が生まれており、飲食の提供だけでなく交流の場としての「古民家カフェ・古民家民宿矢代」の営業の成果が表れていると感じています。</p> <p>今後も「役員・スタッフが楽しくなければ、お客様が楽しい訳がない」を合言葉に、地域の元気づくりに取り組んでいきます。その結果として、「関係人口増加」「移住・定住」に結び付けばと考えています。</p>
<p>次年度以降の活動予定 (令和4年度)</p>	<p>(前年度より継続事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 矢代じょんのびサロン開設 (金曜日)</li> <li>2. 矢代ふれあいカフェ・レストラン営業 (金・土・日曜日)</li> <li>3. 矢代地区の各種サークル作品展示 (手芸、雛人形、5月人形)</li> <li>4. 矢代ふれあいコンサート開催 (七夕コンサート、お月見コンサート、2周年コンサート)</li> </ol> <p>(3年目新規事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 国立青少年自然の家指導者の協力で、裏庭に体験広場作り</li> <li>6. リフレッシュ広場：月1回、着付け教室：6月に4回開催</li> <li>7. 教育体験旅行・インバウンド受入時の日本の田舎生活や文化体験</li> </ol>

※活動内容が分かる資料、写真等を添付してください。

